

あけびだより

No. 209

2022年3月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和4年3月



松下啓子 氏

“あけび”の役割

あけびの里に入居されているK様(男性)が、めでたく白寿を迎えられました。K様は、半世紀にもわたり、神経難病と戦い、いくつもの大病を患いながらも、強い意志と信念で乗り越えてこられました。そして、デイサービスあけびと関わり始められてから、職員にパソコンを習い、自分史を何冊も発行されたり、なかも新聞(神経難病の仲間達)発行をすべく、新聞部を作り、発行を長く続けてこられました。水彩画や版画もされ、年末にはそれらの作品でマイカレンダーを作られていました。職員・利用者からも尊敬される存在です。あけびの里開所時より入居され、今日に至ります。お誕生日当日は、ご家族から、お誕生日ケーキ、そして、なんと息子様、娘様、各ご家族手作りの記念アルバムも持ってきてくださいました。昼食時に、入居者様と職員でお祝いさせていただき、アルバムも拝見させていただきました。各アルバムの最終ページには、長男様、長女様より、メッセージが書かれており、どちらも、K様に対する尊敬の言葉が綴られており、私達も感動し、込み上げてくるものがありました。そして、息子様のメッセージの中で『あけびの里のみなさんの支えがあってこそということも忘れないようにしてください。そして、このあけびの皆さんの強力なサポートと強い意志で、さらに長生きしてください』と書いてくださっていました。この一文で、私は嬉しさで感激したのと同時に、あけびの里ができた頃の思いを実行できているのだろうか?という思いにかられました。そして一人一人、生きてこられた背景があり、その方の思い描く生活に近づけるように支援できているのか自問自答しました。日々、あわただしく、職員のペースでの支援になってしまっていることを反省し、今一度初心にかえって、思いの詰まった支援をしていきたいと思えます。

そして、入居者様にとって、終の棲家としてあけびの里があってよかったと思っただけのように頑張っていきたいと思えます。(A/Y)

(パーキンソン病の方たちはよく仲間という言葉が使われます。

同じ病ということの安心感でしょうか、知らない方達とも一瞬で通じ合われる光景を良く見ます。

介護保険が普及し、色々な制度が利用でき、自由に生きる選択肢が広がったようにも思います。「能力を引き出し、生きがいのある生活が送れるように」というあけびの方針がその選択肢の中にあるでしょうか。その仲間の輪をしっかりとサポートしていくのがあけびの役割だと思っています。)

認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703
グループリビングあけびの里
TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10
Mail: info@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび
TEL 079-262-6708 FAX 079-262-6703
訪問介護ステーションあけび
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10
Mail: houkan@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実
〒670-0804 姫路市保城363番地の3
TEL079-280-6931 FAX079-280-6932
Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp
通所介護施設デイサービスあけびの輪
〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1
TEL079-284-0055 FAX079-284-0056
Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実

★豆まき・巻き寿司作り

コロナ禍の生活も3年目に入りました。オミクロン株が猛威を振るっている中あけびでも「鬼は外！福は内！コロナ退散！！」元気よく豆まきをして鬼を追い払いました。早く平穏な日々が戻るよう願うばかりです。。巻き寿司は名々で巻き頑張って巻いた後は太巻きを丸かぶりしました。今年の恵方は北北西～～美味しくいただきました。



★おやつ作り

コロナ禍で外出が出来ないため「バナナジャムクレープ」を作りました。生地を焼いてバナナと生クリーム、イチゴジャムを包みます。おやつ時間にみんなで美味しく頂きました。男性にはバレンタインに合わせてチョコ付きです。



★リハビリ体操

午前中は、棒体操リズム体操に発声練習と脳トレ、しっかりと体も頭も動かしていますが、午後からも平行棒を使ってダンスリズムに合わせて、すくみ足解消のステップを踏みます。号令に合わせてよく体も足も動かしています。その後は音楽に合わせてワンツー、ワンツーと歩行練習です。コロナ禍でも毎日頑張っています！これが一番楽しみと言われる方もありますよ。

★フラワーアレンジメント

オミクロン株感染拡大のためボランティアの先生はお休みして頂きましたが皆さん集中して取り組み素敵な作品が完成しました。



佐橋 諒子氏



荒瀬 己代子氏



★卓球

普段は車椅子で過ごされているA様ですが、卓球の時は立位でラケットを持ち玉を一生懸命打ち返そうと奮闘されます。

★キャッチゲーム

男性陣はなかなかのコントロールでしたが、女性陣だって負けてはいませんよ。投げてはキャッチ、キャッチしては投げる、、、体もポッカポカ、全身運動になりました。

★芯返し

30秒でトイレットペーパーの芯を自分の色が上になるようにひっくり返していきます。相手から遠いところに置いたり工夫をいろいろされた素早い動きのY様が見事優勝されました。

(外出がままならない分色々な楽しみを見つけ出すスタッフにアッパレ)

制作活動

輪の行事紹介

あけびの輪



★共同作品は桃の節句ちぎり絵です。新聞紙の写真やカラー広告の部分を手でちぎって糊で貼ります。微妙な色の濃淡が出たり、文字が入ったりと面白いですよ。笑顔がこぼれるお雛様が仕上がりました。

★個人の作品今月は3月の桃の節句に向けひな人形を制作されました。奥さんや娘さん・お孫さんへ思いを込めて可愛いお雛様をお作りになりました。

お出かけ



節分



★節分とは、「冬と春の変わり目である節分には邪気が入りやすい」と考えられていたための鬼払いの行事です。今年はコロナ退散の祈りを込めて、鬼に豆をまきました。恵方巻は福を巻き込んだ巻き寿司を、今年の恵方 北北西を向いて願い事をしながら丸かじりされました。あけびでは、例年であれば5メートルを超える長巻寿司を作りますが、コロナのためこの2年は普通の巻き寿司を作っています。来年こそは！！

★アクリ立姫路の之げら落とし公演に姫路を訪れた市川海老蔵さんのSNSに夢前町の菜の花畑がアップされていました。これはぜひ見なければ！と思い、寒い中車の窓を開けつつドライブに出かけました。ビタミンカラーに元気をもらいました。



誕生日会



リハビリ



★2月の誕生日会は、皆さんで懐かしい唱歌や 歌謡曲の合唱しました。次にビンゴ大会。事前に大当たり商品が紹介され、皆さんワクワクドキドキの展開となりました。その後は、恒例のスタッフSの手作りケーキ！皆さんの喜ぶ顔が嬉しくてネットでいろんなケーキを検索して勉強しています。今回は7層ケーキで大好評でした。スタッフYの手作りバースデーカードをプレゼントしました。

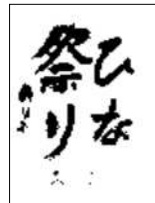
★今年の冬は寒さが厳しいのとコロナで、なかなか外へ出る事ができません。室内でいろいろなゲームやリハビリをしてしっかり身体を動かしました。



小野世津子氏



寺下典子氏



中谷紀子氏



木下素子氏

グループリビングあけびの里

訪問看護ステーションあけび

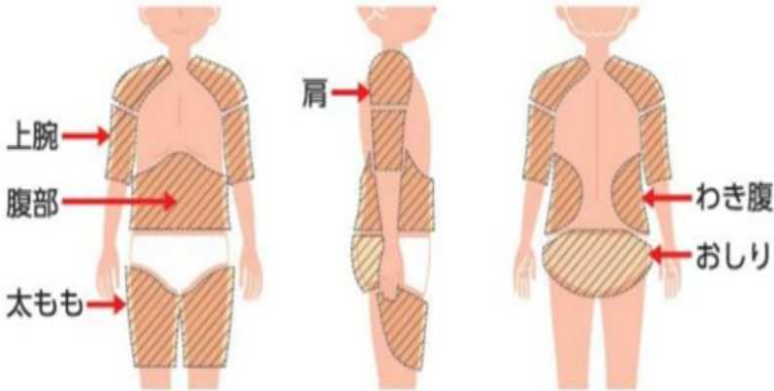
訪問介護ステーションあけび

訪問看護の診て聴いて

パーキンソン病患者にとって「薬」は命綱です。出来るだけ効果が出るような正しい使用・服用方法を出来るように、私たちは思っています。

先日、スタッフが貼付剤に関して、疑問を持ち調べてくれました。この機会に、もう一度知識の再確認をしてみようと思います。ニュープロパッチの貼る場所は以下の通りです。

利用者さんの貼替えの手伝いや、確認を行う際、しわになっ



○肩 ○上腕(二の腕、肩と肘の間) ○腹部(肋骨より下)
○太もも ○おしり ○わき腹(肋骨の下からおしりにかけて)

ており貼付面がしっかりと皮膚に装着されていない事があります。また、背中に貼っていたりします。肩と脇腹との境界線が難しい所ですが背中にはなぜ貼付位置から外れているのか？貼付部位による明らかな体内動態の差は認められていないが、背中での貼付試験は行われておらず、背中に貼付した場合の安全性・有効性は保証できないそうです。私たちなりに、臥床時に体圧で圧迫されてるので吸収が急激になり血中濃度が一定にならないのでは？と解釈しました。胸部が避けられた理由も、胸部の体毛で貼付し辛く、剥離に痛みが伴う事があるので臨床実験がされてないからです。使用される患者本人、介助をする家族や職員、出来る限り効果が証明されている場所への貼付をお願いします。私たちに出来る事は些細な事です、しかしその些細な事が実は大切な事かもしれません。常に問題意識を持ち、当たり前にとらわれず正しい知識を吸収しようとするのは専門職として重要なことです。

確定申告の時期が来ました。

医療費控除・住宅ローン控除などによくご存じだと思います。寄付金控除も故郷納税などで認知されていると思いますが、寄付の相手先としては、特定の政治献金、国や地方公共団体、特定公益増進法人などです。この特定公益増進法人の中に、社会福祉法人や公益財団法人などがあり認定特定非営利活動法人も入っています。「あけび」も認定特定非営利活動法人として認定を頂いているので寄付金控除の対象となります。5年の更新も無事通過することができましたので今年も確定申告の時には、ご寄付の際にお渡しいたしました領収書を添付して、申告してください。医療費控除も所得が200万円以上の人は10万円を超えた分が控除できますが、200万円未満の人も所得の5%を超えた分を控除できます。介護保険の利用料も控除の対象になるものがあります。

あけびの里



2月のお誕生月の方は3名ですが、皆さんサービスでもお祝いしてもらって、一年に2回誕生日をされています。相当のお歳になられていると思います。(笑・・・) 黙食ならず静かに食べるのアクリル板も見張っています。

お知らせ

パーキンソン病友の会兵庫県支部姫路ブロック

* 3月患者・家族交流会

[日時] 3月20日(日) 13:00~

[場所] あけびの実 [会費] 1家族 500円

* 難病講演会

—自分の感情との上手なつきあい方—

[日時] 3月12日(土) 13:30~

[場所] 姫路市総合福祉会館 5F

[講師] 藤澤貴史先生(池田回生病院)



「卓球クラブ」

3月15日(火)

場所: ルネス花北体育館

持物: 上靴・ラケット

連絡先(280-6931)